

Title	第六十九巻第二号目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1996
Jtitle	法學研究：法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.69, No.3 (1996. 3)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19960328-0182">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19960328-0182</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

第六十九卷 第二号 目次

宮澤浩一教授 退職記念号

序

mediation の在り方について

神戸寅次郎「契約解除論」再考  
—私の研究ノートIII—

建物の区分所有における  
専有部分の敷地利用権

株主総会をめぐる法的紛争の誘因

訴訟終了宣言と我が国の判例

死刑廃止論と死刑代替刑論について

中世イタリア都市社会における

「正義」のイメージ  
—A・ロレンツェッテ著作

『善政のアイコリ』を中心として

一八世紀・プロイセン抵当権諸立法中  
の強制抵当権制度  
—裁判上債権者の法的地位の劣位化—

山田 辰雄

石川 明

内池 慶四郎

新田 敏

加藤 修

坂原 正夫

加藤 久雄

森 征一

斎藤 和夫

参審制度について(続)

量刑理論の体系化のための覚書

インドネシアにおける検察官の捜査権  
—新検察庁法成立過程における  
議論を中心として—

二一世紀に向けての

日本の被害者対策論

—わが国の被害者実態調査および諸外国  
の現状認識を踏まえて—

犯罪統制と個人による  
犯罪被害防止活動

社会的コントロール理論  
の有効性に関する比較実証研究

—自己申告方式による非行調査における  
日米の地域社会特性の差異について—

フランス不能犯論の歴史的変遷

CRIMINAL POLICY IN JAPAN:  
A CASE STUDY OF AUM  
SHINRIKYO

Schura  
FULLER-COOK

平良木登規男

井田 良

太田 達也

諸澤 英道

富田 信穂

谷岡 一郎

末道 康之

宮澤浩一教授略歴・主要業績